

消費者トラブルを防止することを目的として、生徒の興味・関心を高めるためカードゲームを作成しました。

中学生から消費生活の基礎を正しく学び、若者の消費者トラブルを防止することを目的としています。

問い合わせ先

鶴ヶ島市立鶴ヶ島中学校

〒350-2213
 埼玉県鶴ヶ島市脚折 1868
 TEL:049-286-0234
 FAX:049-271-4289

教諭 飯島 知佳

一人で悩まず
 みんなで考える

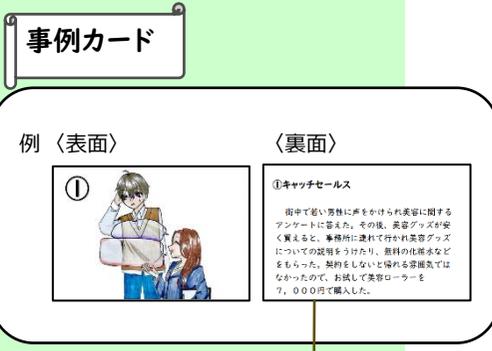
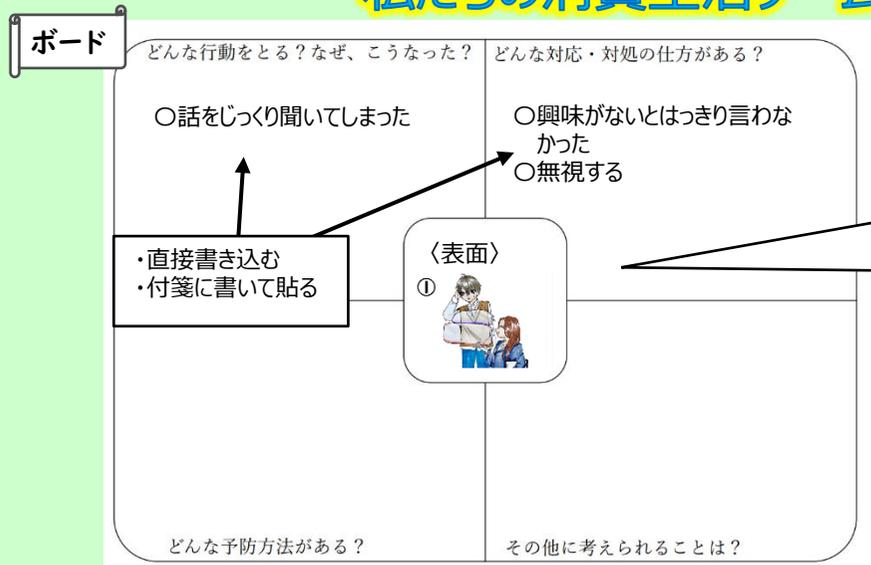
私たちの 消費生活ゲーム



鶴ヶ島市立鶴ヶ島中学校

1人で悩まず みんなで考える

私たちの消費生活ゲーム



カードの裏面を呼んで、ボードの中央に置く。

このゲームの構成は次の通りです。

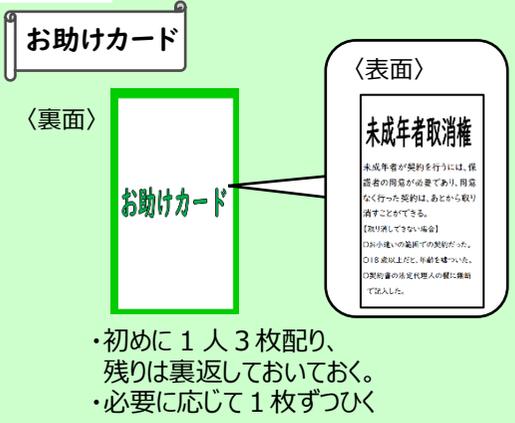
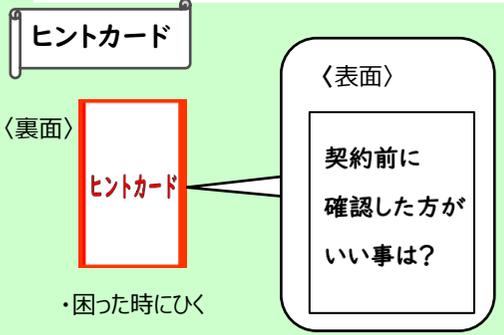
- ゲームボード 1枚
- 事例カード 12枚
- お助けカード 30枚
- ヒントカード 10枚

★1ゲーム 15～20分
★人数 4～6人

★使い方★

- ①お助けカードを一人3枚ずつ配る。残りのカードはみんなが取りやすい位置に裏面が見えるように置く。ヒントカードは、みんなが取りやすい位置に裏面が見えるように置いておく。
- ②事例カードの中から、1枚カードをひく。裏面に書いてある事例を読む。カードを中央に表面を上に乗ける。
- ③ボードに書いてある、お題をもとに各班ごとに解決策を考えボードにまとめる。
- ④各自の持っているお助けカードをもとに解決策を考える。さらに必要な場合は残りのお助けカードから1枚ひく。また、事例と関係のないカードを持っている場合、さらに1枚カードをひく。
- ⑤困った時は、ヒントカードを1枚ひき、話し合いを続ける。
- ⑥20分経過したら、班ごとに意見を整理して、全体で共有する。

～さらに深めるために～
地域の消費生活相談員をゲストティーチャーとして招き、アドバイスを受けながら話し合いを深める。



消費者トラブル防止ゲーム

このゲームは、東松山市立東中学校の生徒の協力をいただき作成しました。

消費生活の基礎、消費者を守る法律、消費者の権利と責任を学習し、中高生が自分の力で消費者トラブルなどを防ぐことを目的としています。

このゲームを通して、主体的・対話的な学習を行い課題解決のためのスキル習得につなげたいと考えています。

この教材は、研修中の埼玉県消費生活支援センター協力のもと作成を行いました。

環境に配慮した商品選択

消費生活を送るにあたり、持続可能な社会の構築に向けた商品選択をする力を身に付けることが大切です。

このゲームは、消費者トラブルのみではなく商品選択の事例取り入れ幅広く活用できるようにしました。